

Webライターになるには？未経験からの始め方と仕事内容も解説



「未経験からWebライターになれる？」「Webライターは稼げる？」
Webライターの仕事を始めたくても、わからないことだらけの方が大半です。

この記事では、Webライターの仕事内容や未経験からの始め方を解説します。求められるスキルをもとに、向いている人の特徴もまとめました。

この記事を読めば、Webライターになるための具体的なステップがわかります。
結論から言うと、未経験からでもWebライターになれるですが、デメリットもあるためよく検討しましょう。

Webライターの仕事内容



Webライターはネット記事や商品紹介文など、Webに載っている文章を書く職業です。一言に「Webライター」とまとめても実際の仕事はさまざまです。詳しい仕事内容や活動ジャンルを解説します。

そもそもWebライターはどんな仕事？

Webライターとは、ネットに掲載されるテキストコンテンツを書く仕事です。ネットが大きな情報源になっている今、需要も増えています。場所や時間を問わず、在宅ワークを叶えられる職業です。

発信したい情報を選んで記事を書くブロガーと違って、クライアントから受けた依頼を満たす記事を書きます。自分の経験や取材内容をもとに、読者の悩みを解決するための記事を書くのがWebライターの役目です。

Webライターが活躍するさまざまな分野

Webライターは幅広いジャンルのテキストコンテンツを手がけます。

- 特定のキーワードを検索した人のための記事を書く「SEOライティング」
- サービスや商品の魅力を紹介する「セールスライティング」
- 動画などのシナリオを書く「シナリオライティング」
- キャッチコピーを書く「コピーライティング」

特に専門知識を持っていれば、その分野に特化したライターとして活動できます。

未経験からWebライターになるには？



Webライターは未経験からでも始められる仕事です。
企業に就職してキャリアを積むほか、副業やフリーランスとしても始められます。
ここではWebライターになるための近道を5つ紹介します。

ポートフォリオを用意する

未経験からWebライターになるとき、必要不可欠と言ってよいのがポートフォリオです。
ポートフォリオは、クライアントに「こんな文章を書けます」とアピールするための作品集です。ほとんどの場合、仕事応募の時点で提出を求められます。

仕事実績がないうちは、自分で開設したブログの記事でOKです。
資金がある場合は、学習しながら記事を作成できるスクールに通って、その課題作を掲載する方法もあります。

実績ができれば、ポートフォリオも更新していきましょう。

クラウドソーシングで仕事を探す

ランサーズやクラウドワークスなどのクラウドソーシングサイトでは、さまざまな条件でライターが募集されています。

初心者OKの案件も多いため、未経験でも応募しやすい環境です。
自分の経歴や趣味に合う仕事に応募すれば採用率も高く、より良い記事を書きやすくなるでしょう。

未経験からWebライターの仕事を探す場合は、クラウドソーシングが特におすすめです。

メディアのライター募集に応募する

Webメディアのライター募集に応募する方法もあります。

特定のコンテンツを発信しているWebメディアでは、ライターが募集されていることがあります。自分の好きなジャンル、興味があるジャンルを取り扱っているメディアがおすすめです。

発信したいジャンルが明確に決まっている人には特に効果的です。

企業にWebライターとして就職する

Webライターの求人を出している企業もあります。

この方法ではほとんどの場合、会社員としてWebライターになります。

副業やフリーランスでWebライターを始めるよりも、安定した収入につながりやすいです。また、確実にライターとしての経験を積めます。

特定の資格が不要で、未経験からでも応募しやすいのがWebライターの魅力です。

困ったときは先輩ライターの活動を見るのもおすすめ

実際に働いている様子がイメージできないときは、先輩ライターのSNSを見てもいいでしょう。

Webライターとして活動している人の大半がSNSアカウントを開設しています。現役のライターがどのように仕事をしているのか、仕事をする上でのメリット・デメリットは何か、リアルな状況を見られます。

Webライターは、横のつながりから仕事の紹介が来やすい業界です。同じ職業の仲間をぜひ探してみてください。

Webライターに向いている人の特徴5選



よいWebライターになるためには、ある程度の適性と能力が求められます。ここではWebライターに求められるスキルをもとにして、向いている人の特徴を5つ紹介します。挫折せずにWebライターを続けていける人の大半が持っている特徴です。ぜひチェックしてみてください。

文章が好き

文章の読み書きに親しみがある人はWebライターに向いています。Webライターは文章を書くのが仕事の主軸です。わかりやすい文章を書けるほど強みになります。

- 普段から本をよく読む
- 文章を書くのに慣れている

上記に当てはまる人は特におすすめできます。文章力は数をこなすほど上昇するため、まずは「文章が好き」ならOKです。

積極的に情報収集をする

日頃から情報収集に抵抗がない人もWebライターの適性があります。記事を書く前には、自分の知らない情報や既存記事の調査が欠かせません。

- よくSNSやニュースを見ている
- 気になったことをすぐ調べる

これらに当てはまる人は、より上手く情報を集められるでしょう。
たくさん情報を知っていれば、書ける記事のジャンルも幅広くなります。

自己管理ができる

自己管理がしっかりできる人はWebライターを続けやすいです。
Webライターは成長しつづける仕事です。フィードバックを受け取ったら、より良い仕事をするために改善していく必要があります。

また、複数の仕事を同時進行でこなす場合もあるため、スケジュール管理が得意な人ほど向いています。

目標に向かって一直線に頑張れる人はWebライターを継続していけるでしょう。

ルールや締め切りを守れる

Webライターの仕事ではルールを守ること重視されます。
クライアントから渡されたマニュアルに沿って、要望に応えるための記事を書く必要があるためです。

記事に含めるキーワードや文字数など、ライターの独断で変えてはいけない要素もあります。
事前に決まっているルールや規則をしっかり守れる人は、クライアントとの信頼関係も築きやすいでしょう。

コミュニケーション能力がある

コミュニケーション能力が高い人は、Webライターの活動も成功しやすいです。
クライアントから仕事を任されるWebライターは、交渉や営業が必要になる場面も多いです。「こうすればもっとよくなります」と提案できるライターは特にクライアントから高評価を受けます。

- 相手が求めているものを考えられる
- 積極的に人と連絡が取れる

これらに当てはまる人は、クライアントと上手に接するWebライターになれるでしょう。

Webライターの収入はどれくらい？



Webライターは、企業に勤めるよりも副業・フリーランスで活動している人が多いです。固定給のないフリーランスでも、安定して稼げる平均額は月収30～50万になっています。年収の平均額は260～550万です。実績のないうちは報酬も少なくなりがちです。しかし、さまざまな方法で確実に収入を上げていくことができます。

フリーランスと企業勤めで収入は異なる

Webライターの収入は働き方によってメリットとデメリットがあります。

フリーランスの場合は以下ようになります。

- メリット→収入の上限がなく、働いた分だけ稼げる
- デメリット→実績がないうちは低単価の仕事が多く、安定するまで数ヶ月かかる

対して、企業に勤める場合は以下ようになります。

- メリット→時給、月給などの安定した固定給が多い
- デメリット→収入に上限がある

自分の目指す生活に合った働き方を選ぶのがおすすめです。

収入を上げていくコツ

Webライターの収入を上げるコツを3つ紹介します。

1. 直接契約をする

クラウドソーシング経由ではなく、直接契約をするとより高い報酬を得られます。
同じクライアントから続けて仕事を受けたときに有効です。

2. 専門分野で記事を書く
専門知識のある分野で記事を書けば、より高い単価を実現できます。
3. スキル販売系サイトで仕事を募集する
ココナラなどでは、自分で価格や納期目安を決めて仕事を募集できます。
クライアントとの交渉に慣れてきたときにおすすめです。

副業・フリーランスのWebライターは確定申告が必要

副業・フリーランスでWebライターを始める場合、確定申告について知っておくといでしょう。企業に勤めている場合は会社が年末調整をしてくれます。しかし、副業やフリーランスの場合は、雑所得や事業所得として確定申告をしないてはなりません。本格的に活動をしたいときは、事前に調べておくトラブルが少なくなります。

【まとめ】未経験でもWebライターになれる！



ここまで、未経験でもなれるWebライターについてご紹介しました。

- 時間も場所も選ばず、副業やフリーランスとして始められる
- 文章力や自己管理能力、コミュニケーション能力が求められる
- 収入が安定するまで数ヶ月かかる

始めたばかりで稼ぎが少ない時期に挫折してしまう人も多い仕事です。
しかし、実績を重ねていけば高収入の在宅ワークが叶います。

Webライターとして生活していきたい方は、まずは記事を書いてみてください！